スポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値とウェルビーイング (ふじみ野市スポーツ鬼ごっこ連盟) 金子 俊之

キーワード:社会的価値評価・ウェルビーイング・スポーツ鬼ごっこ

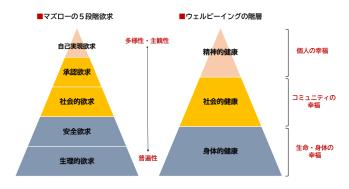
1. 研究背景

- ・昨今、ウェルビーイング(Well-being)というテーマへの関心が高まってきている。GDP(国内総生産)に代わる GDW(グロス・ドメスティック・ウェルビーイング:国内総充実)というコンセプトが唱えられたり、さまざまな企業がウェルビーイングに注目した展開を進めたりしている。これは従来型の経済指標だけでは、現在という時代に即した豊かさや人々の求めるものは把握できず、それに代わる指標が必要になっているという認識である。[1]
- ・さて、従来の遊びの鬼ごっこに戦術や戦略を要するルールを加えた「スポーツ鬼ごっこ」は、幅広い世代が運動能力に関係なく誰でも気軽に参加できる楽しみと競技性の高さが両立しており、その魅力から全国各地で広がりを見せている。
- ・スポーツ鬼ごっこ活動を地域で持続させるためには、限られた参加者が楽しむだけに留めず、多様な社会的価値を創出する団体として、地域社会に受け入れられることが求められてくる。そのためには、スポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値を算出し、評価することが必要だと考える。
- ・既往研究では、金子が社会的企業や団体が行う非営利的活動の投資可能性を測るSROI (Social Return on Investment:社会的投資収益率)手法の活用によりスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値の算出を実施している。[2][3][4]
- ・さらに、コロナ禍におけるスポーツ鬼ごっこ活動のニーズの変化と社会的価値の変化から、スポーツ鬼ごっこの社会的価値は依然として高い状態であることや感染対策の徹底により、参加者の不安を低減しながら活動を継続することの必要性を明らかにした。[5]
- ・しかしながら、スポーツ鬼ごっこの魅力、 楽しさの根源を追求していこうとすると、 これまで評価してきた社会的価値だけで

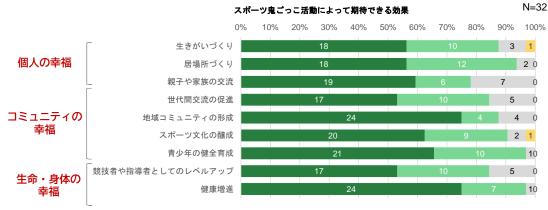
- は十分ではないと感じている。社会的価値が高ければ「楽しい」のだろうか。
- ・そこで、本研究では、これまで算出して きた**スポーツ鬼ごっこの社会的価値と** ウェルビーイングの関係について考察 していきたい。

2. ウェルビーイングとは

- ・ウェルビーイングとは、身体的・精神 的・社会的に良好な状態にあることを意 味する概念であり、つまり「幸福・幸 せ」といえる。世界保健機関(WHO)憲 章では、「健康とは、病気ではないとか、 弱っていないということではなく、肉体 的にも、精神的にも、そして社会的にも、 すべてが満たされた状態(well-being) にあること」とされている。SDGs の 17 の目標の 1 つにも「GOOD HEALTH AND WELL-BEING」が存在していることからも ウェルビーイングが注目されていること が分かる。
- ・マズローの5段階欲求では、人間の欲求 は五段階に分けることができ、それぞれ の欲求が積み重なって1つのピラミッド を構成しているとされている。
- ・ウェルビーイングの概念である身体的健康・社会的健康・精神的健康をマズローの5段階欲求の階層に当てはめて整理したのが下図である。
- ・ピラミッドの下層は普遍性が高く、上層 に行くほど多様性・主観性が高くなるが、 ウェルビーイングを階層構造で捉えて整 理した。



■スポーツ鬼ごっこによって期待できる効果とウェルビーイング



■そう思う ■どちらかと言うとそう思う ■どちらとも言えない ■どちらかと言うとそう思わない ■そう思わない

◆事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ) (分母の内訳)

関係者	投入資源 (インブット)	内訳	投入資源の 金額(円/年)
	維持管理費 (備品・消耗品等)		105,480
	体育館使用料	一部は団体登録により無料	20,750
m - 12 - 12	参加者保険代	実費	160,590
スポーツ 鬼ごっこ 連盟	大会参加費 ユニフォーム代	都度実費精算	-
	ライセンス更新料	2級7,000円×2名、3級2,000円×8 名	30,000
	人件費 (体育館抽選参加)	1,000円/回×12回/月	12,000
	人件費(講師料)	5,000円/回×1名×123回	615,000
		ät	943,820

◆スポーツ鬼ごっこ活動のSROI(社会的投資収益率)

CDOI		事業が生み出す社会的価値(単位:円)			
SROI :	-	事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ)(単位:円)			
		2,966,963 円 (事業の成果を貨幣換算)			
		943,820 円(事業の維持管理費、人件費等)			
	-	3.14 (投資1に対する社会的価値の割合)			

関係者	活動内容 (アウトブット)	活動 収入 (円)	生じた変化 (アウトカム)	変化が生じた人数	食幣換算の方法	寄与率 ※	生じた変化の 社会的価値 (円)
参加者	は総会・練習会等の開催 (年間123回、平均17人 参加) (本間123回、平均17人	W P	気軽にスポーツに親しめる 競技者としてのレベルアップ	17	平均支払意思額2,600円/月×12ヶ月	84.8%	449,77
			運動不足解消などの健康増進	17	1回あたり歩数4,200歩×貨幣換算係数0.061 円/歩×123回	93.0%	498,21
指導者		561.000	指導者としてのレベルアップ 自分の特技を活かせる場所が できるなどの生きがい	17	シルバー人材センター年間登録費2,400円相 当	83.8%	84,10
保護者		861,000	親子や家族の交流	17	カフェ代500円相当×123回	84.4%	882,4
d1 * 6.44			青少年の健全育成 世代間交流の促進	17	放課後児童クラブ1日あたり500円相当×123回	84.4%	882,4
日石体			地域コミュニテイの形成、居場所づくり などの地域の活性化	1	市民活動支援補助金年間30,000円相当	87.5%	26,28
			スポーツ施設の有効活用	1	市営体育館使用料1,800円×123回	87.5%	193,7
国		-	スポーツ文化の醸成	-	今回は計測しない(スポーツ実施率等)	-	-
見ごっこ協会			スポーツ鬼ごっこの認知度向上	-	今回は計測しない(体験者数、導入団体数、 大会参加者数等)	-	-
推進、地域連盟認	推進、地域連盟認定	_	公認ライセンス保持者の増加	-	今回は計上しない(ライセンス取得者数×登録	-	-

生命・身体の 個人の幸福

2,966,963

コミュニティの 幸福

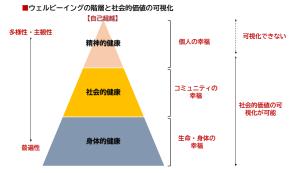
3. スポーツ鬼ごっこの社会的価値とウ ェルビーイングとの関係

- ・スポーツ鬼ごっこによって期待できる効 果と整理した結果をみると、「健康増 進・レベルアップ」などの生命・身体の 「地域コミュニティの形成・青少 年の健全育成」などのコミュニティの幸 福、「生きがいづくり・居場所づくり」 などの個人の幸福がそれぞれウェルビー イング階層と整合しているといえる。
- ・次に、SROI 手法に基づく社会的価値評 価の結果をみると、生命・身体の幸福と コミュニティの幸福に関係する部分につ いては、貨幣換算化できているが、個人 の幸福に関する部分については、指導者 や保護者としての評価はできているもの の、参加者としての評価が十分できてい いないことが分かった。

4. まとめ

・本研究では、ウェルビーイングの階層 構造の土台部分であるコミュニティの 幸福までは客観的な社会価値の可視化 が可能であることを明らかにした。

・多様性・主観性に富む個人の幸福につ いては可視化できていない領域である が、土台をしっかり作った上で、この 部分を充実させていくことが更なる魅 力を高めることに繋がるものと考える。



[引用・参考文献]

- [1]広井良典、いま再び「幸福」が社会的テーマになっている理 由,2021.9
- [2]金子俊之, SROI を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的イ ンパクト評価の試行,第1回鬼ごっこ総合研究所研究発表大 会, 2018.3
- [3]金子俊之, SROI 手法を活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会
- 的価値評価,第2回鬼ごっこ総合研究所研究発表大会,2019.3 [4]金子俊之,スポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値に関する一考 察,第3回鬼ごっこ総合研究所研究発表大会,2020.3
- [5] 金子俊之, コロナ禍におけるスポーツ鬼ごっこの社会的価値, 第4回鬼ごっこ総合研究所研究発表大会,2021.3